

# 認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議

## 会員加入のお願い

NPO高知市民会議は、「社会を変える市民のチカラ」を基本コンセプトに、市民活動の活性化を通じて魅力あるまちづくりを推進する民間非営利組織です。

私たちの組織は様々な事業を行っていますが、会員の皆さまからの会費は、「社会を変える市民のチカラ」をさらに高めていくための貴重な財源となります。

是非ともNPO高知市民会議の目的にご賛同いただき、高知の市民活動を推進していくため、会員にご加入いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1. NPO高知市民会議の概要

- (1) 設立年月日 1999 (平成 11) 年 1 月 (法人化は 1999 年 5 月)
- (2) 設立目的 「市民が自発的に行う非営利の公益活動の促進を支援する事業を行い、魅力ある地域を創造する。」(定款第 3 条)
- (3) 主な事業紹介 ①子どもたちが運営するまち「とさっ子タウン」の企画運営  
②新しい寄付のカタチを創造する「ファンレイジングプロジェクト」の実施  
③高知市市民活動サポートセンターの管理運営  
※詳しくは、パンフレットをご参照ください。
- (4) 財政規模 2014 (平成 26) 年度支出決算額 34,168,219 円
- (5) 組織概要
- ①役員 理事 13 名 (うち理事長 1 名、副理事長 2 名、専務理事 1 名)、監事 2 名
- ②会員 (2015 年 8 月 1 日現在)
- 正会員** 個人会員 100 名・団体会員 33 団体 合計 133  
本法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- 賛助会員** 個人会員 40 名・団体会員 3 団体 合計 43  
本会の目的に賛同いただく企業、団体や個人
- ③事務局職員数及び体制
- 正規職員 5 名 (うち事務局長 1 名、チーフ 1 名)

## 2. NPO高知市民会議の収入源

主な収入源は、次のとおりです。

現在のところ、高知市市民活動サポートセンターの指定管理代行料を中心とした受託金収入の占める割合が大きくなっています。しかし、今後、NPO高知市民会議の自由な発想による柔軟かつ開拓的な活動をすすめていくために、会費・寄付金収入、事業収入などの「独自財源」を伸ばしていく努力をしているところです。

## 3. 会費収入の使用用途

会員の皆さまから納入いただく会費については、主に次の活動に活用させていただきます。

- ① 次世代の市民を育む「とさっ子タウン」の開催経費
- ② 新たな寄付のカタチを創造する「ファンドレイジングプロジェクト」の実施経費
- ③ 社会を変える学び舎「土佐志民大学」の開講経費
- ④ 市民の「防災・減災意識を高める場づくり」の開催経費
- ⑤ 様々な市民活動に関する各種事業を効果的に遂行するための人件費及び運営管理経費 等

## 4. 役員名簿

理事長 東森 歩

副理事長 浦井 理恵 半田 雅典

専務理事 岡田 一水

理事 池澤 良子 梶 秀樹 近藤 純次 四宮 成晴 野村 ひとみ

宮脇 綾子 山崎 水紀夫 依光 香代子 和食 一範

監事 内田 洋子 門田 芳穂

## ※ご加入頂いた方には

○会員証が届きます。

○企業等の名称は（了承を受けたうえで）次の媒体に掲載します。

・NPO高知市民会議ホームページ ・NPO高知市民会議総会資料 など

○市民活動に関するセミナー等の案内が毎月1回届きます。（賛助会員は年3回）

・高知市市民活動サポートセンター便り「サポセン」 ・季刊誌「えぬびいOh!」（年3回）

○貸出機器（プロジェクター・スクリーン・デジタルビデオカメラなど）が会員価格で借りられます。

**ご協力をよろしくお願いいたします。**